

国語

東学
教光
京校
育村
書
図
出
図
籍
書
版
書

令和元年度

中高・飯水地区小中学校教科用図書採択研究協議会

(種目：国語)

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい国語）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">既習事項を振り返るページを設定することで、身につけてきた知識及び技能が明確になるよう工夫されている。思考力、判断力、表現力等を育てるための力を「言葉の力」として明確にし、国語で育む資質・能力を位置づける工夫がなされている。単元末に「生かそう」の欄を設定し、学んだことが日常の言語生活や他教科でどのように生かせるのか、示されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none">文章の長さや分量、難易度が児童の発達段階に応じて考慮され学習が無理なく進められるよう配慮されている。思考を働かせながら言語活動を行う単元を系統的に配列するなど、自分の考えを形成する力を育てることにつながる教材選定の配慮がなされている。単元の見通しが持てる導入ページを設定して児童の主体的な学習を促している。児童が考えを伝え合う場面の描写をモデルとして記載することで、主体的・対話的な学習を促すよう工夫されている。字間、行数など児童にとって読みやすい配慮がなされている。行数を児童が数えやすいよう配慮されている。読みやすい字体である。「読む」「考える」「話す・聞く」などを統一した絵で示し、学習内容がわかるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none">単元で身に付ける力に応じた言語活動例を示しながら、系統的に単元を配列する配慮がされている。単元に関連の深い既習事項を「覚えているかな」として冒頭に示すなど、単元相互の関連性や連続性が図られている。既習の知識および技能がわかりやすく記され、単元相互の関連性、学年間の系統性が示されている。単元構成を「つかむ」「取り組む」「振り返る」とすることで、見方・考え方を働かせて言語活動が行われる配慮がされている。知識及び技能の内容がバランスよく配置されている。各学年に知識及び技能を身に付ける単元が、系統化されて取り入れられている。さし絵、図表、写真、デジタル教材を効果的に配置し、学習展開に有効に活用できるよう配慮されている。単元末の「言葉の力」で単元の評価の視点を明確に示し、学習のまとめに活用できるよう配慮している。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">単元で身に付ける力が明確になるよう、単元冒頭と終末に「言葉の力」として示すことで、振り返りまでの学習過程を大切にするとともに、具体的な記述で到達目標や評価を児童自身が理解しやすくなる工夫が見られる。言語活動を行う単元を、各学年を通して系統的に配置している。

(種目：国語)

発行者名 採択基準	学校図書（みんなと学ぶ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">・ 巻頭で身に付ける知識や技能を一覧で示し、巻末で付いた力をたしかめるページを設け、主体的に学習できるよう工夫されている。・ 単元で身に付ける力の重点などを「国語のカギ」としてまとめ、思考力、判断力、表現力等の向上に活用できるよう工夫されている。・ 巻末の「言葉の部屋」を活用することで、児童の書く力や話す力の基本的な知識・技能の定着を図ることができる。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 文章の長さや分量、難易度が、児童の発達段階に応じて考慮され、学習が無理なく進められるように配慮されている。(2) 「考えの形成」が重視される教材を設定し、自分の考えを表現する場が確保されている。(3) 「学習のてびき」を単元ごとに設けるとともに、「学習の見通しをもとう」として活動の概要を一覧で示し、学習の見通しをもてるように工夫されている。(4) 1年生の「言葉のレッスン」では、1マス中の字形や原稿用紙の使い方、手紙の書き方などが、実物大で見やすく工夫されている。行数の確認が容易であり、読みやすい字体である。(5) 巻頭の詩とページ一面の写真で関心を高めている。ポイントを示す囲みや網掛けを効果的に使っている。さし絵がきれいで、興味・関心を高める工夫がみられる。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 学習のねらいに即した言語活動を各学年に設定し、学習が積み上がるよう配慮されている。(2) 各学年で育てる資質・能力を、児童も教師も確認できるよう、巻頭に一覧で示されており、単元相互の関連性が図られている。(3) 「読むこと」に続いてそこで身に付けた力を使って「書くこと」の単元を配列するなど、他領域が関わり合うよう配慮されている。(4) 日常生活で使われる言葉を中心に、辞典を引いて調べる言葉を示し、学習を促している。「言葉のきまり」「言葉のいずみ」等各単元に設け、言語活動の充実が図られている。(5) 絵や写真・図表が豊富で、文章と対応させて読む教材を設定するなど、有効に活用できるよう配慮されている。また、デジタル教材の活用を促し、QRコードによる補助教材へのリンクが家庭学習でも活用できる。(6) 付ける力を焦点化し、明確に示している。振り返りでは、自分の言葉で学習がまとめられるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">・ 「国語のカギ」として児童に付ける力を示し、学習ポイントを明記することで、思考力、判断力、表現力を高めるよう工夫されている。・ 巻末の「授業で使うことば」の説明が詳しく記載されており、必要な時に振り返りやすい。・ 実生活で使える語彙力を高める工夫がされている。

(種目：国語)

発行者名 採択基準	教育出版（ひろがる言葉 小学国語）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">単元の冒頭に学習の目標を示したり、習得した学習内容を活用する教材を構成したり、基礎基本が定着するように工夫されている。単元で付ける力を「ここが大事」でまとめ、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう工夫されている。児童の日常生活に関連付けた言語活動例を示し、「広げよう（広めよう）」で学んだことが活用できるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none">文章の長さや分量、難易度が児童の発達段階に応じて考慮され、学習が無理なく進められるよう配慮されている。単元の学習過程で終末に「広げよう」を位置づけ、発展的な学習を促している。単元ごと「学習の目標」と「ふり返ろう」を明記したり、「てびき」に考えるための観点を示したりすることで、児童の自己評価や自学自習を促す工夫がされている。読みやすい字体である。文字の大きさの違いを効果的に用いるなど、視覚的な配慮がされている。文章と合わせて読むことで思考力を高める資料、活動の手順や留意点を示す配色などが取り入れられている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none">育成する言語能力に沿って単元構成が系統化され、全学年にわたり段階的な指導ができるよう配慮されている。各領域間の関連を示し、習得と活用を繰り返すことで学びを積み重ねられるような教材化が図られている。一領域に重点的に取り組む単元と、複数領域を関連させた単元を設定し、思考力や表現力を高めるための配慮がされている。難語句を欄外に明記し、日常生活で使う言葉の定着を図っている。「言葉を学ぼう」「言葉をふやそう」等で知識及び技能が身につくよう配慮している。図表やメモ、対話モデルの吹き出し、デジタル教材など、考えの形成を助ける資料が効果的に配置されている。手順や留意点をわかりやすく示している。単元の終わりの「ふり返ろう」を位置付け、学習の目標に照らした自己評価がしやすいよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">単元ごとの「てびき」で、学習過程をわかりやすく示し、児童の自学自習を促している。どの学年でも、考えを形成し共有する活動が、位置づけられている。「話す・聞く」の単元を中心に、単元に複数の教材を配置していて、習得と活用を促す工夫がされている。

(種目：国語)

発行者名 採択基準	光村図書（国語）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">各単元でねらいを明確にし、学習の進め方の提示で見通しをもって学習し、知識及び技能が身につくように工夫されている。単元で付ける力を「たいせつ」としてまとめ、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう工夫されている。各単元末の「いかそう」により他教科や日常生活と国語科の学びがつながるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none">文章の長さや分量、難易度が児童の発達段階に応じて考慮され、学習が無理なく進められるよう配慮されている。国際的な内容や異文化理解、メディア等、児童が実生活と関連付けて考えやすい教材の工夫がみられる。巻末資料により補充・発展学習に役立つよう工夫されているとともに、自主的な学習に活用できるように配慮されている。「見通しをもとう」により学習過程が明確になっている。対話的な学びのヒントを具体的に示したり、例話やイラストなどにより示したりして、主体的・対話的な学習を促すよう工夫されている。文章の活字は大きさがよく、見やすい。また、巻末の「この本で習う漢字」が大きくて見やすく、自主的な学習に活用しやすい。内容の理解を助け、イメージを広げる絵や写真、内容を解説する写真や、図・グラフなどが適所に掲げられている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none">言葉について学習したことをふまえて書く活動が設けられる等、言語活動に沿って系統的に単元が構成されており、全学年にわたり段階的な指導ができるよう配慮されている。単元の冒頭に、これまでの学習を示して既習事項が学習に生かせるように配慮されている。各領域にまたがって言語活動が位置付けられている。「言葉の使い方」では漢字や文法を、「受け継がれる言葉」では伝統的な言語文化を繰り返し学習でき、「言葉の宝箱」では発達段階に応じた語彙を増やせるよう配慮されている。理解を助けイメージを広げたり、内容を解説したりする絵や写真・図やグラフ等が適所に掲げられ、学習展開に有効に活用できるよう配慮されている。QRコードが設けられ、映像資料の活用ができる工夫がみられる。「ふりかえろう」が各単元末に観点別に設けられ、自己の振り返り、評価に有効に活用できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">子どもの学びの道筋が見えるよう工夫され、見通しをもって学習を進めていくことができるよう配慮されている。単元、巻末の「たいせつ」を使って、自学自習に取り組みやすい。前学年の学びを確かめること、これまでの学習との関連が明記されており、学習の系統性が示されている。